



J R九州連合情報

No. 20

2021年2月5日

発行責任者 中原 博徳

編集責任者 住吉 一家

J R九州グループ労働組合連合会

J R連合第 30 回臨時大会・第 33 回中央委員会

2021 春闘方針を決定！逆風の中でも一歩ずつ前に進む取り組みを！

J R連合は2月2日、北九州市内で「第 30 回臨時大会」及び「第 33 回中央委員会」を開催し、コロナ禍においても重要な意思決定機関を厳格に執り行うための規約改正を決定したほか、未曾有の事態の中で繰り広げられる2021春闘に対して「あらゆる資源・活動を総動員し、**ONE TEAM**で春季生活闘争に臨む」などとした2021春季生活闘争方針を決定した！



あいさつに立った荻山市朗会長は、感染リスクが蔓延

する中、日夜業務に精励する組合員に敬意を示したうえで、現下の危機を克服するためのJ Rグループへの支援や鉄道の安全性の発信などを国に求める緊急政策課題解決の取り組み、すべての仲間の雇用を守り、賃金水準を維持することを最優先課題と位置付けた2021春闘の取り組み、ポストコロナの社会変容を見据え、労使を挙げて変革を進めていくための産業政策・労働政策の課題解決に向けた取り組みについて見解を述べ、「コロナ禍のピンチをチャンスに変えられるよう、J R連合ビジョンの提起に基づき、仲間との絆を深めながら運動を前進させよう！」と呼びかけた。

議事では、第 30 回臨時大会において「規約・諸規則の改正」、第 33 回中央委員会において「当面の活動方針（案）」などが提起されるとともに、新しくJ R連合に加盟したJ R西日本福岡メンテック労働組合（J R西日本連合）が紹介された。

グループ労組の壊滅的な実態を島田副会長が訴える！

質疑では、11名の中央委員が発言する中、J Rグループ労組連絡会を代表して、J R九州連合の島田卓中央委員（J R九州ステーションホテル小倉労組・執行委員長）が登壇。この間のグループ労組に対する支援に謝意を示したうえで、特に経営の厳しいホテル部門では緊急事態宣言やG o T oキャンペーンで翻弄されてきた状況を報告するとともに、経営状況を改善するための会社側からの厳しい課題提起を紹介し、「今後は各社において難しい判断を迫られる事を想定しておく必要があり、健全で建設的な労使関係を基軸とするJ R連合への総結集が絶対に必要である」と訴えた。

J R連合の答弁では、雇用調整助成金の特例措置をコロナが収束するまで継続するよう求めていることや、2021春闘では、何としても雇用を守り、生活を守るための賃金の維持、定昇の確保に務め、組合員の安心を支えていくために**ONE TEAM**で闘い抜く決意が示された。

その後、全ての議案は承認され、コロナ禍の2021春闘がスタートした。J R九州連合もJ R連合方針に基づき、**ONE TEAM**の一員として、その責務を果たしていく決意である。



最大の経営危機を強固な団結と労使関係で克服しよう！